

行事名	教育機関支援機構「名古屋市立大学における特許紛争劇」	
日時	平成30年1月25日（木）10:40～12:10	
場所	名古屋市立大学 滝子（山の畑）キャンパス 2号館208号教室（名古屋市瑞穂区）	
担当委員会	教育機関支援機構、広報企画委員会	
取材 レポート	 <p>ここは、名古屋市立大学山の畑キャンパス2号館208号教室。学生たちが高田、松嶋の掛け合いにクスクス笑いながら見入っている。</p> <p>1月25日に行われた教育機関支援機構の特許紛争劇は、数年ぶりの大雪のため、路面が凍結して、歩くのも難渋するあいにくの天候でしたが、寒波を吹き飛ばす熱い演技でスタートしました。この特許紛争劇は、15回にわたって行われた講義の最終回に行われるものです。</p> <p>当日の配役は、司会・解説：藤谷先生、発明者（高田パリ子）：高田機構長、高田パリ子の弁理士：塩谷先生、中小企業社長（松嶋のり男）：松嶋先生、松嶋のり男の弁理士：藤田先生、レフェリー：瀧川副機構長、スライド操作等：北副機構長です。</p> <p>劇は、パリパリおにぎり大好きの高田パリ子と、中小企業社長の松嶋のり男のやや脱線気味の掛け合いを中心に進行していきますが、塩谷先生、藤田先生、瀧川副機構長、北副機構長、藤谷先生がしっかり脇を固め、学生たちを引き込んでいきます。</p> <p>特許紛争は、侵害とクレームの確認、出願の先後の確認、先使用权・無効の抗弁の可否と続き、フィナーレは、両者がクロスライセンスでお互いの特許を独占使用するという大団円で幕となりました。これだけの内容なら更にブラッシュアップすれば本会や近畿支部へ巡回興行できる！という声も聞かれました。</p>	<p>OL風の女が「私は、パリパリの海苔のおにぎりが大好き！食べるときに簡単に海苔から外せる包装で特許を取ったのよ！なのに、あんたの模倣品のおかげで売り上げがガタ落ちよ！」と、中年の男を責めたてる。男も「わしだってあんたより先におにぎりの特許を取っておる！飲み屋のリカちゃんと話しているときに思いついたんじゃ！」と引かない。昂じた二人は取っ組み合いとなる。</p> 
取材担当	広報企画委員会 弁理士 守田 賢一、丸山 修	